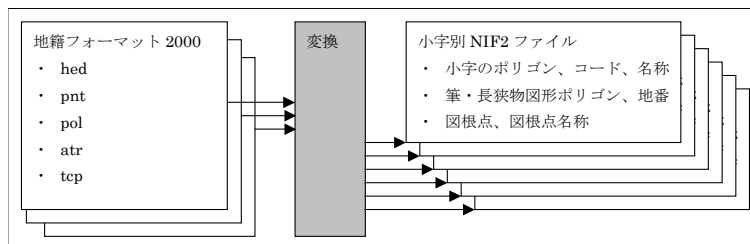


# 地籍フォーマット 2000 から NIF2 へ変換 説明書

2008/09/30  
 有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>  
[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

地籍フォーマット 2000 ファイルから NIF2 ファイルへの変換について説明します。

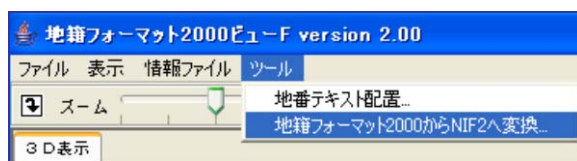
複数組の地籍フォーマット 2000 ファイルから、大字コード小字コード別に NIF2 ファイルを作成します。



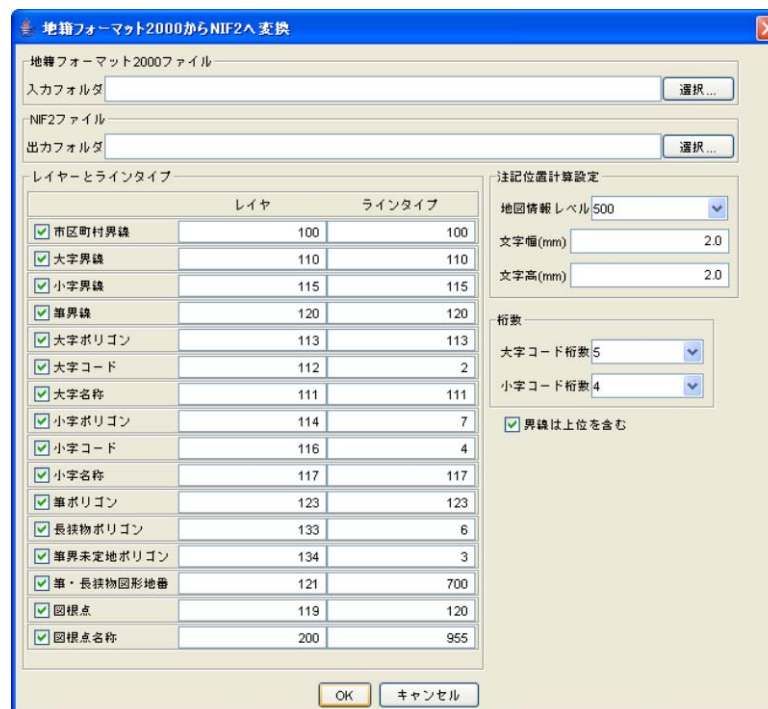
以下のソフトウェアに専用ライセンスを設定することで、変換機能が使えるようになります。

ソフトウェア名	バージョン	ビルド
地籍フォーマット 2000 ビューF	2.02 γ	2008/09/30

専用ライセンスが設定されていると、メニュー[ツール]-[地籍フォーマット 2000 から NIF2 へ変換]を表示します。

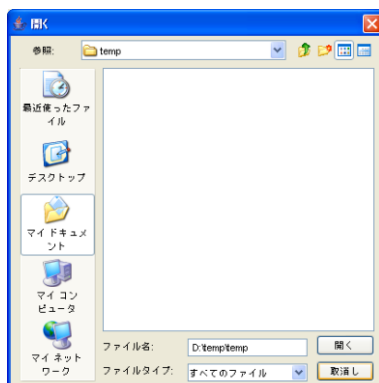


このメニュー[ツール]-[地籍フォーマット 2000 から NIF2 へ変換]で変換ダイアログを表示します。

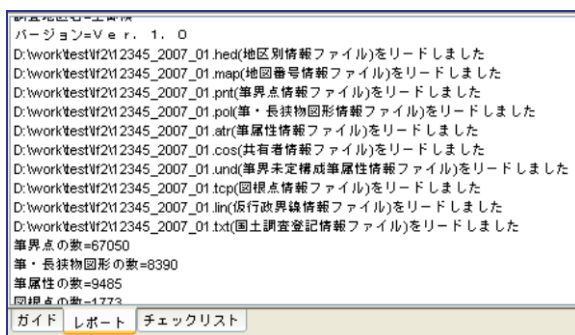


## 【地籍フォーマット 2000 ファイル】

地籍フォーマット 2000 ファイルを含むフォルダを指定します。選択ボタンを押し、ダイアログでフォルダを選択してください。選択されたフォルダ名が左側に表示されます。



フォルダに含まれる地区別情報ファイル(拡張子. hed)を参照し、同じ名前の pnt, pol, atr, tcp などを読み込みます。ロードしたファイル名を、ウィンドウ下の[レポート]パネルに表示します。

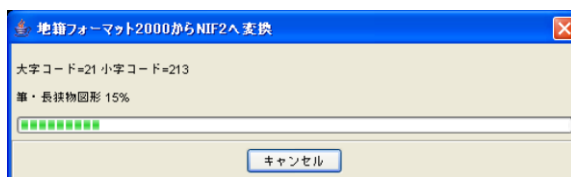


## 【NIF2 ファイル】

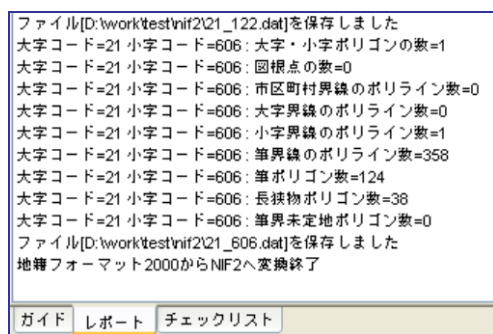
NIF 2 ファイルを保存するフォルダを指定します。選択ボタンを押し、ダイアログでフォルダを選択します。

NIF 2 ファイル大字コードと小字コード別に作成し、ファイル名は指定された桁数で「大字コード + “\_” + 小字コード + “.dat”」とします。例えば、桁数が 4 の場合、「0021\_0213.dat」となります。

処理中は大字コード・小字コード毎に進捗状況を表示します。



保存した NIF2 ファイルの情報を [レポート] パネルに表示します。

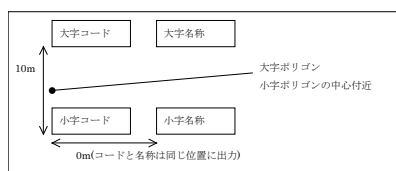


## 【レイヤーとラインタイプ】

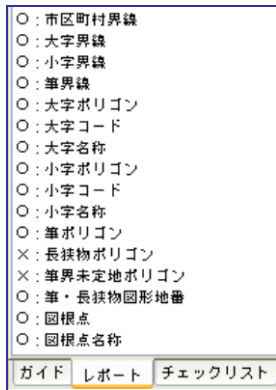
出力する NIF2 ファイルの線分、ポリゴン、注記のレイヤーとラインタイプを指定します。キーコードは0です。

項目	型	内容
市区町村界線	線分	筆・長狭物図形の線分種別「市区町村界線」の線分
大字界線	線分	筆・長狭物図形の線分種別「大字界線」の線分
小字界線	線分	筆・長狭物図形の線分種別「字界線」の線分
筆界線	線分	筆・長狭物図形の線分種別「筆界線」の線分
大字ポリゴン	ポリゴン	小字ポリゴンと同じ形状
大字コード	注記	大字コードを大字ポリゴンの外周の中央付近に出力
大字名称	注記	大字コードを大字ポリゴンの外周の中央付近に出力
小字ポリゴン	ポリゴン	同じ大字小字の筆・長狭物図形全体を囲むポリゴンを右回りで出力。飛び地がある場合、複数のポリゴン(外周)を出力。筆・長狭物図形の抜けがある場合、内周となるポリゴンを左回りで出力。
小字コード	注記	小字コードを小字ポリゴンの外周の中央付近に出力
小字名称	注記	小字名称を小字ポリゴンの外周の中央付近に出力
筆ポリゴン	ポリゴン	筆・長狭物図形と対応する筆属性の筆状態が「筆」
長狭物ポリゴン	ポリゴン	筆・長狭物図形と対応する筆属性の筆状態が「長狭物」と「白地」
筆界未定地ポリゴン	ポリゴン	筆・長狭物図形と対応する筆属性の筆状態が「筆界未定地」
筆・長狭物図形地番	注記	筆ポリゴン、長狭物ポリゴン、筆界未定地ポリゴンについて、中央付近に地番を出力します。地番にハイフンが複数ある場合、2番目以降のハイフンを削除します。また、全角の英数字記号を半角に変換します。 例「道 - 1 - 1」⇒「道-11」
図根点	シンボル	図根点の座標
図根点名称	注記	図根点の名称を図根点と同じ座標に出力

- ・ 同じ大字コード小字コードの筆・長狭物が複数の地籍フォーマット 2000 ファイルに分かれている場合も、ひとつの NIF2 ファイルにまとめます。
- ・ 市区町村界線、大字界線、小字界線、筆界線の線分が連続している場合、接続しポリラインとして出力します。
- ・ 地籍フォーマット 2000 では、隣接する筆の筆界線が重なっていますが、NIF2 には重複なしで出力します。
- ・ 注記は文字位置を左下角とし、横方向のアスキー列(20)あるいは漢字列(21)とします。
- ・ 図根点は小字ポリゴンの中に含まれるか外周上の点のみを出力しています。従って、外周上の図根点は、隣接する小字の NIF2 ファイルにも同じ点が出力されることになります。
- ・ 大字コード、大字名称、小字コード、小字名称の注記は次のような位置関係になります。



- ・ ポリゴンが小さい場合、大字コードの注記がポリゴンの中に入るようにします。
- ・ 項目名のチェックボックスがOFFになっている場合、NIF2 ファイルには出力しません。ON/OFF をレポートパネルに○/×で表示します。



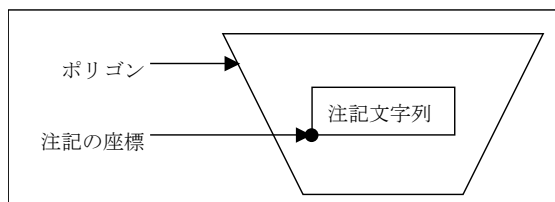
### 【筆ポリゴン、長狭物ポリゴン、筆界未定地ポリゴン】

- ・ 筆・長狭物図形で筆状態が「筆」「筆界未定地」「白地」「長狭物」の場合、ポリゴンと地番を出力します。筆状態が「現地確認不能」「表示登記」「滅失」「不存在」「その他」に場合、ポリゴンも地番も出力しません。筆・長狭物図形に対応する筆属性がない場合、筆状態の「筆」「筆界未定地」「白地」「長狭物」が取得できないので出力しません。その際、その旨を[レポート]パネルに表示します。筆状態が空白あるいは0の場合(1 から9以外)、地番で判定します。地番の最初の文字列が次表の場合それぞれの筆状態とし、それ以外の場合は「長狭物」とします。

地番の最初の文字列	筆状態
「白地」	白地
「筆界未定」	筆界未定地
「道」	長狭物
「水」	長狭物
「堤」	長狭物
「不」	不存在
最初の文字が「0」から「9」の数字	筆

### 【注記位置計算設定】

注記の座標をポリゴンの中央付近に配置する為の設定です。紙への印刷時に注記の幅高さを想定し、注記の左下角の座標を計算しています。



計算方法の詳しい内容は「地籍フォーマット 2000 テキスト配置」説明書の「地番テキスト配置」を参照してください。

<http://www.geocoach.co.jp/download/GeoCoach3D-LF2-T-1-manual.pdf>

地図情報レベルの値は、NIF2 ファイルの「図面の XY 方向のスケール」としてセットします。

### 【桁数】

NIF2 ファイル名の大字コード小字コードの桁数、NIF2 ファイルに出力する大字コード小字コードの桁数を指定します。例えば、大字コード 11、小字コード 1 で桁数がそれぞれ 4 の場合、ファイル名は「0011\_0001.dat」となります。また、NIF2 の注記もそれぞれ「0011」「0001」となります。

### 【界線は上位を含む】

出力する市区町村界線、大字界線、小字界線、筆界線について、地籍フォーマット 2000 の筆・長狭物図形の上位の界線を含むかを指定します。

出力 NIF2	OFF	ON
市町村界線	筆・長狭物図形の市町村界線のみ	筆・長狭物図形の市町村界線のみ
大字界線	筆・長狭物図形の大文字界線のみ	筆・長狭物図形の市町村界線, 大字界線
小字界線	筆・長狭物図形の字界線のみ	筆・長狭物図形の市町村界線, 大字界線, 字界線
筆界線	筆・長狭物図形の筆界線のみ	筆・長狭物図形の市町村界線, 大字界線, 字界線, 筆界線

### その他

ダイアログの設定は OK ボタンが押された時点で記録し、次回起動時のデフォルトになります。

筆・長狭物図形のポリゴンから注記の座標が計算できないなど、なんらかの問題が発生した場合、[レポート]パネルにその旨を赤字で表示します。

### 更新記録

[2008/05/13]

- ダイアログに「界線は上位を含む」を追加しました

[2008/09/30]

- ポリゴンが小さい場合、大字コードの注記がポリゴンの中に入るようにしました
- 地番の注記について、ポリゴンが小さい場合の注記左下の座標を修正しました